

第6次一宮市総合計画

策定の経緯と推進の考え方

1

総合計画とは？

- 市政を計画的に進めるための長期間(10年間)の行政指針
- まちづくりの考え方と目標を明らかにし、その実現のために何を行うかをまとめた、市政運営の最も基本となる計画

合併を受けて策定を進めてきた「第6次一宮市総合計画」がこの4月からスタートしました。

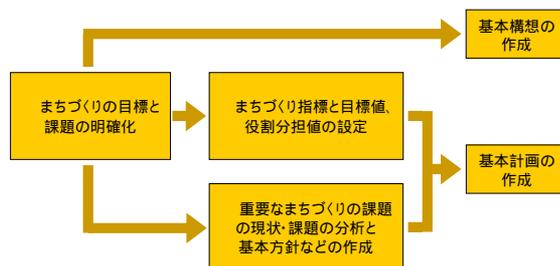
2

計画策定の基本的な考え方

- 市民との協働による策定
計画策定のそれぞれの段階での市民参画
- まちづくり活動の成果が測定できる指標の設定
市民会議でまちづくり指標などを検討
- 読みやすくわかりやすい計画書
簡潔な文章、現状を表す図表

3

計画策定の手順



4

まちづくりの目標と課題の明確化(1)

- グループインタビューの実施
生活実感に根ざしたまちづくりの課題の網羅的な洗い出し(886項目 対象:市民87人)
- まちづくりの課題の整理
課題を103項目にまとめ、10個のキーワードで整理
- 市民アンケート調査の実施
多くの市民にとって重要なキーワードと課題の調査(対象:市民6,000人 有効回収数:2,717)
6つのキーワードと41個の課題を採用

5

まちづくりの目標と課題の明確化(2)

- 重要な住みよさのキーワードとまちづくりの課題の追加
これからのまちづくりに欠かせないと市が判断したキーワード(1個)とまちづくりの課題(16個)を追加



- まちづくりの目標と課題の決定
7つのまちづくりの目標(キーワード)と57個の重要なまちづくりの課題を決定

6

まちづくり指標と目標値、役割分担値の設定

すべて公募の市民による市民会議で、市民の目線から検討
協働によるまちづくりの下地づくり

- まちづくり指標の設定
何かを「やった・やらない」という結果の指標ではなく、何かをした結果、「地域がどう変わったか」という成果を測る指標を設定
- 目標値の設定
現状値を把握(市民アンケート調査等)したうえで、5年後、10年後の目標値を設定(市民会議委員 & 関係者等 & 市職員の平均値)
- 役割分担値の設定
重要なまちづくりの課題を改善するために各主体に期待される役割の大きさを設定(市民会議委員 & 関係者等 & 市職員の平均値)

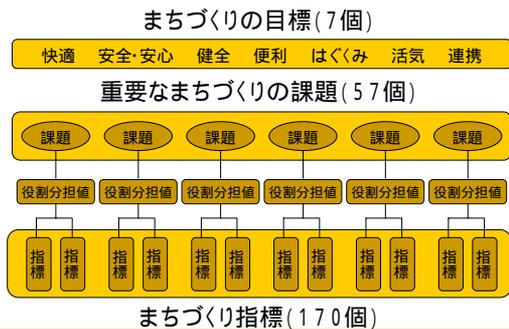
7

重要なまちづくりの課題の現状・課題の分析と基本方針などの作成

- まちづくりの主体の一つと位置づけられる市が、重要なまちづくりの改善にどう取り組むかを整理・検討
重要なまちづくりの課題に対応して市が実施する施策(56施策)の設定

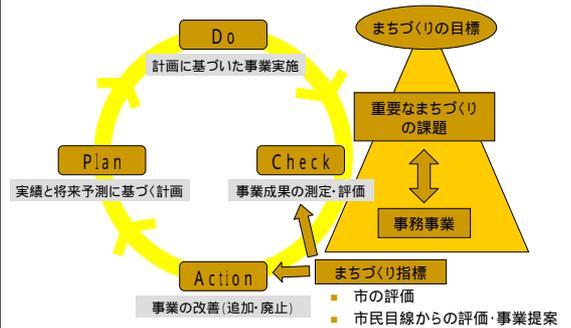
8

全体像



9

市民と行政の協働による計画推進



10

まちづくり指標の活用 (市民と行政の共通の尺度として)

- 総合計画の推進状況の評価
指標の数値の変化を確認し、まちづくりの進み具合を評価
- 市民と行政のテーブルづくり
総合計画推進市民会議の設置
評価結果を手がかりに、これからのまちづくりを議論
評価・提案の大会、確認の大会

11

今後の課題

- まちづくりに関わる様々な主体が、それぞれに役割を認識し、それぞれに責任を果たしながら、相互に連携することが必要

12